

令和4年度 近畿情報高等専修学校 学校評価協議会

学校法人 東洋学園  
近畿情報高等専修学校

報 告 書

学校法人東洋学園 近畿情報高等専修学校において、下記日時に「学校評価協議会」を開催いたしました。協議会では、意見交流を行い以下の意見と評価がありましたことを報告いたします。今後は、このご意見を受け止め、より良い学校運営と教育活動になりますよう改善に努めてまいります。

- 1 目的 ·学校教育自己診断アンケート調査結果の客観性、透明性を図る。  
·学校家庭地域が共通理解を持ちその連携協力により学校運営の改善にあたる。
- 2 日時 令和4年 10月14日（金） 18：00～19：00
- 3 場所 近畿情報高等専修学校 図書室

学校評価協議会委員名簿（順不同）

職名	所属
学校長	近畿社会福祉専門学校
学校長	枚方市立渚西中学校
代表取締役社長	株式会社 三共プラス
課長代理	学校法人大阪国際学園本部事務局入試広報部
学校教育担当	株式会社日本旅行滋賀教育旅行支店
会長	近畿情報高等専修学校 同窓会

## 学校評価協議会会議報告

1 開 会 令和4年 10月15日（金） 18時に開会しました。

2 校長挨拶

開会の挨拶を本校校長 小寺 克一が行いました。

3 学校評価協議会の役割と運営について 副校長高島より

学校評価協議会の役割と運営についての説明を行いました。

4 学校関係者及び学校評価協議委員の紹介 教頭密より

本校関係者 6名及び学校評価協議委員の紹介を行いました。

5 学校評価協議会

議案1 本年度の取り組みについて 副校長高島より

生徒の学力向上に向けて、土曜講座の充実。テキストに「マナトレ」を活用。

小論文講座の開講6年目。2年・3年の生徒が（17回）受講。

教員の育成に向けて、授業力向上委員会の活性化、新任・若手教員研修の定例化と人材育成研修の充実。

農業実習体験実施。心の豊かさを育む取り組み。

新型コロナウイルス感染症対策として、教員による日々の校内消毒。

大型空気清浄機を廊下に2台設置。

生徒の喜ぶ行事の実現。

行事については昨年度延期となっていた修学旅行を今年度3年生の5月に実施。2年生につきましては通常の9月に実施することができました。

議案2 生徒の状況について 各部長より

教務部長 西垣、生徒指導部長 飯田、進路指導部長 鈴木が令和3年度の各報告を行いました。

議案3 令和3年度学校教育自己アンケート調査結果について

昨年度のアンケートについての改善への取り組みとして生徒アンケートNo.23の項目につきましては今年度、コロナウイルス感染症対策を実施した上で、模擬店の出店などコロナ前の規模に戻すかたちで、「復活」というテーマで生徒が主体的に実施する準備を進めております。No.24の項目につきましても今年度3年生は5月に、2年生は9月にそれぞれ無事実施することができました。これからも生徒が楽しむ中で成長につながることを目標に行事を実施いたします。

## 【意見交流】

### [生徒アンケート結果について]

- ・全体的に尻上がりで数字が良くなっているのが印象的である。特に No2 についてはポジティブな意見が 80% 以上ですばらしい。
- ・コロナ禍もあり、行事ができなかったと思われるので No26 の項目についてはやむを得ないものと思われる。
- ・No12 の項目について  
このコロナ禍で先生方の努力が数字にあらわされていると思う。
- ・No17.19 の項目について  
将来のことについても不安を感じることなく学校生活を過ごしているようである。

### [教職員アンケート結果について]

- ・全体的に高い A・B の比率で好ましい。
- ・No14 の項目について  
グループ学習など学習形態の工夫改善が比較的に低いのが気になるが、コロナ禍においては代替手段が難しく、やむを得ないものと思う。
- ・教職員の連携・コミュニケーションが向上しているように読み取れる。但し、コロナ感染問題によって様々な制約が発生して、益々多忙になっていると思う。その中で生徒の不安やストレスに、どのように向き合い、対処するのかが大きな課題だと思う。

### [保護者アンケート結果について]

- ・全体的に保護者アンケートの満足度の高さに驚いた。
- ・No5 の項目について  
全体的に 80% 以上の方が良く思って頂けているのは良い傾向だと思う。
- ・No13 の項目について  
A・B 併せて 90% を超え保護者から絶大な信頼を得ている。

## 【意見交流総括】

入学して頂く生徒についても教員同士であってもコミュニケーション能力が低下している傾向にあると思う。コミュニケーションの手段が変化してきていること、それから世代によって捉え方が違うということが根底にあるように思う。本校では生徒にできるだけ楽しく過ごしてもらうことを目標に据えている。そのうえで自発的に探究する姿勢と生徒一人ひとりの成長発達が確実に進み、様々な教育活動の成果が上がるよう諸条件を整備し運営していくことが重要である。そして生徒の学力習得だけではなく、生きていくために必要な力を育成するため、教師の人間力・そして指導力向上への取り組みを継続する。

## 6 校長閉会の挨拶

生徒が人間的に成長してもらうために必要なことの一つとして興味のあること、好きなことでまず楽しむこと。このような環境が大事だと考えます。自発的に追求していく前にはこのような段階が必要です。私たちの学校もこれが重要であると捉え、日々の教育活動に取り組んでおります。そしてコミュニケーション能力や対人関係について学ぶ取り組みとしては学校行事も大きな起点の一つであると考えます。

今年度は軽音楽部が一つの成果として we are sneaker ages 全国軽音楽部大会にて関西地区準優勝で全国大会出場が決定しております。やはり生徒が自信をつけることにより、意見や発言がしやすくなるのではないかと考えています。そしてそれがひいてはコミュニケーション能力に必要な根底の部分の成長に繋がるもの考えております。本日頂きましたご意見を受け止め、本校の学校運営に活かしてまいりたいと思います。本日は、誠にありがとうございました。